



るらてる



2017年
5月
No.833

■発行所 ■
日本福音ルーテル教会事務局広報室
〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町 1-1
電話 03-3260-8631
■ウェブサイト ■ <http://www.jelc.or.jp>
■E-mail ■ jelc@jelc.or.jp
■発行人 ■ 安井宣生 koho06@jelc.or.jp
■印刷人 ■ 精文堂印刷株式会社
■定価 ■ 1部 40円 (郵税を含む)
■振替口座 ■ 00190-7-1734

説教「天に昇られる時も」

日本福音ルーテル稔台教会、津田沼教会 牧師 内藤新吾

イエスは、そこから彼らをベタニアの辺りまで連れて行き、手を上げて祝福された。そして、祝福しながら彼らを離れ、天に上げられた。
(新約聖書ルカによる福音書 24・50～51)

主イエスの昇天の出来事を伝えるルカは、主が弟子たちをエルサレムから《ベタニアの辺りまで連れて行き》、《祝福しながら彼らを離れ、天に上げられた》と記しています。ベタニアはエルサレムの東、約2・7kmに位置し、オリブ山の南東斜面にある小さな村です。ご存知、マルタ、マリア、ラザロの村です。主イエスは十字架にかかる前、エルサレムに通うのここに拠点とされ、連日都に行かれても、わざわざいつもこの村に戻って泊まっておられます。そして昇天の時も、この



GIOTTO di Bondone, Ascension, Cappella Scrovegni, Padua

村入り口辺りです。これは単なる偶然でしょうか。死海文書の発見は、都の東方にハンセン病患者を隔離するよう規定があったことを示しました。このベタニアがその隔離村であった可能性は極めて高いです。エルサレムから見ると山に隠れる場所であり、マルコ14章にもこの村に《重い皮膚病の人シモンの家》があったことが記されていて、それを裏付けます。主イエスは地上を歩まれた時もそして天に昇られる時も、人々から疎外されまた虐げられていた人たちの側にいつも心をおかれ、それを弟子たちに託されたことと見ることができないのでしょうか。滝澤武人さん(『イエスの現場』世界思想社)や月本昭男さん(『目で



の真理が歪められてはならないということが、何よりも再確認されなければならぬ重要な事柄でした。しかしそれはもはや解決されています。今や、神の救いの恵みに捕えられ、その愛に押し出されて、私たちは隣人に仕えていくということが、共に声かけ合い大事な時代となっています。

見る聖書の時代』日本基督教団出版局)、他にも同じ見方の方々はあり、私もそのように受け止めています。すべての人は神に愛されています。しかし、最も助けの必要な人々は誰か。そのことを私たちは思い起こすよう、主イエスから託されています。聖書が隣人について私たちに告げる教えは、一日一善的な優しさではなく、「正義と公平」という言葉にも集約されるように、誰が最も悲惨な状況に追いやりられているか。それを解放し、また虐げる悪のくびきを折るようにならなければならない。そしてさらに、あなたのパンを裂き与えということも、大切であると示されています(イザヤ58・6、7)。これは主が言われた「地の塩」「世の光」の教えおよび順序とも符号します。

ルター先生の時代、神が私たちにくださった救いの真理が歪められてはならないということが、何よりも再確認されなければならぬ重要な事柄でした。しかしそれはもはや解決されています。今や、神の救いの恵みに捕えられ、その愛に押し出されて、私たちは隣人に仕えていくということが、共に声かけ合い大事な時代となっています。パンを必要としている人は隣人であり、追いはぎに襲われて倒れている人も隣人です。どちらも助けが必要です。しかし、人によって苦しみを与えられるほど辛いものはなく、さらに、苦しみを与える側が大きな権力であったりする場合、受ける者の苦痛は何重もの悲しみや孤独も加わり絶望的となります。神様から人々からも教会の関わりが待たれるなか、最も手薄となっている領域です。たぶん反発を恐れて、経費と共に、個人で負うには大変です。私が出会ったのは原



連載コラム enChu

⑭【What is 2+2?】

ジョージ・オーウェルの『1984年』という小説は近未来の全体主義国家の恐怖を描いたものです。この小説の主人公は、国家の発表が常に正しくなるように様々な記録(報道や歴史)の改竄を行う真理省で働くウィンストン・スミス。改竄された記録(報道や歴史)は間違った記録(報道や歴史)ですが、ほぼすべての行動を当局によって監視されている国民は、それらを正しいもの(真理)だと信じる思考を植え付けられていきます。またこの国家は国民の思考を単純化し、国民が国家に反対する思想を持つことがないように、語彙の数を減らした新しい言語(ニュースピーク)を作り支配を盤石なものにするのです。もちろんこれは

小説上の架空社会のお話です。しかし、今の小説を読むとき、背筋に冷たいものがあるのも、弁護士渡辺輝人さんが昨今の日本の状況を簡潔にツイート(つぶやき)しているのですが、首相が国会で虚偽答弁をし行政が説明責任を負っていない資料を破壊したと強弁一方で学生には道徳を教えるという。そして、歴史学の発展は拒絶し、銃剣道なる旧日本軍へのノスタルジー満載のものを体育でやらす。私たちの社会が『1984年』的の社会に近づきつつあるのではないかと思えるからです。「人の子よ、わたしはあなたを、イスラエルの家の見張りとする。わたしの口から言葉を聞けなら、あなたはわたしに代わって彼らに警告せねばならない」(エゼキエル3・17)。「イエスは不道徳だから「家巣」とせよ、となる前に...

(門司教会、八幡教会、佐賀教会、小城教会牧師) 岩切雄太

世界の子ども支援
JELA チャリティ・コンサート

演奏
後藤加奈(ピアノ) 真野謡子(ヴァイオリン)

5月7日(日)	14:30	宇部教会
5月13日(土)	13:30	高蔵寺教会
5月14日(日)	14:00	沼津教会
6月3日(土)	14:00	松本教会
6月4日(日)	13:00	大岡山教会
6月10日(土)	14:00	岡崎教会
6月11日(日)	13:30	広島教会
6月17日(土)	14:00	小鹿教会
6月24日(日)	14:00	甲府教会
7月1日(土)	14:00	羊母教会
7月2日(日)	14:00	神戸東教会
7月8日(土)	13:30	大森教会
7月9日(日)	13:30	保谷教会
7月15日(土)	14:00	熊本教会
7月16日(日)	13:30	博多教会

主催
日本福音ルーテル社団(JELA)
日本福音ルーテル教会・世界宣教委員会



最近「教育勅語」という言葉

言葉を耳にすることがあります。戦前は用いられていたという死語かと思っ

「空気に流されることなく」

総会議長 立山忠浩

ら国会でも排斥されたはずの勅語が生きているこ

ば、私たちはそのためにわざわざ「教育勅語」を持

愛や公共に尽くすこと、にしていること、過去の戦

分も聖書は教えているの

私も、「教育勅語には今

続けるのです。

2012年に出版された『マルティン・ルター

られて、6週間の日本旅行

ら翻訳が完成、2016

「日本人のルター」

ベリピ・ソベリ (引退牧師)

2015年の秋、フィン

いたいただいたプレゼント

祈ります。



LE Yの出版

ルターはまことに「こ



第24回春の全国ティーンズキャンプ 空っぽの手を神さまに

キャンパーは新中1から

プログラムの山場は2

められるとは、





宗教改革500年に向けて ルターの意義を改めて考える (60)

ルター研究所長 鈴木 浩

「信仰のみ、恵みのみ、聖書のみ」という言葉は、宗教改革の標語のように受け取られて、広く知られている。ルターの使ったラテン語では、sola fide、sola gratia、sola scriptura（ソラ・フィデ、ソラ・グラティア、ソラ・スクリプトゥラ）である。日本ルーテル神学校の校章は、ルターがデザインしたバラの花の周りをこの言葉を取り巻いている。

ところで、ラテン語は名詞がいくつもの形に変化する。この場合は、フィデもグラティアもスクリプトゥラも、「尊格」(だっか)という格である。尊格の機能は、「手段方法、離脱、分離」など多様な意味を持つている。sola fide、sola gratia、sola scriptura は、厳密に言えば、「信仰によってのみ、恵みによってのみ、聖書によってのみ」という意味になる。ルターが意図せずに始

めてしまった宗教改革は、「人はどうしたら救われるのか」という問いを回転軸とする運動であった。だから、sola fide、sola gratia、sola scriptura は、その根本的な問いに対する端的な回答であった。ルターがsola(それだけ)と言ったとき、それは文字どおり「それだけ」なのだ。『95箇条』の少し前、ルターは『97箇条の提題』という極めて重要な文書を明らかにしていた。その第1箇条は、「異端者に反対して語っているとき、アウグスティヌスには誇張があると語ることは、アウグスティヌスがどこでも嘘をついていたと語ることに等しい」となっている。もし、わたしがルターを擁護して箇条書きの文書を書くとしたら、その書き出しは、「ルターが『のみ』と言ったとき、ルターの言葉には誇張があると『言うこと』は、ルターがどこでも嘘をついていたと語ることに等しい」となるだろう。

熊本地震の揺れは体験した者でさえもその表現が難しい程の揺れだった。とは今年2月に社会福祉法人ベタニアホームの職員4名が益城町、熊本市を訪れた際、多くの方々から伺った言葉です。「広安愛児園」では、敷地を地域住民に開放し、ライフライン損壊による生活上の支障が大きくなる

「慈悲愛園子供ホーム」では、次々と届く救援物資の置場不足に対応し、敷地内に置場を設置したこと。また施設に暮らす子ども達とその物資を単身高齢者世帯に安否確認と共に配達したこと。障害児者施設の「熊本ライトハウス」では、食堂の建物が損壊したものの、新しい建物で昨年12月まで福祉避難所を展開したこと。聴くこと全てが考えさせられる内容でした。健康教会の小泉基牧師には、教会を私設避難所として展開された経緯を伺いました。祈ることが被災

「ルーテルアワー」のサイト
【てあなの部屋】より
わたしがあなたを選んだ
伊藤早奈

土の香りや風の音、太陽の光の中で生きていくと感ずる時、ちっぽけに見える孤独を感じていた自分がそのまま大切な存在として、神様あなたに生かされていることを感じます。「私はあなたにとって大切な存在なのでしょうか」と不安になる時があり、疑いを受けることが何度もあります。それでも神様は必ず私に「あなたを愛してい

ないように取り組まれたこと。」「慈愛園子供ホーム」では、次々と届く救援物資の置場不足に対応し、敷地内に置場を設置したこと。また施設に暮らす子ども達とその物資を単身高齢者世帯に安否確認と共に配達したこと。障害児者施設の「熊本ライトハウス」では、食堂の建物が損壊したものの、新しい建物で昨年12月まで福祉避難所を展開したこと。聴くこと全てが考えさせられる内容でした。健康教会の小泉基牧師には、教会を私設避難所として展開された経緯を伺いました。祈ることが被災

した方々の心の支えになっていたこと。分け隔てなく受け入れるだけでなく、特別の支援が必要な方には行政との連携から、安心、安全な避難所の紹介をされたというお話しは、施設の支援者である私たちは何をすべきなのかを改めて考えさせられました。屋根をブルーシートで覆われた家屋も依然として多く、復旧はまだです。しかし、被災1年後の訪問の意味を我々が自問自答していたことも事実です。そんな私たちに小泉牧師が阪神淡路大震災の支援の経験を踏まえてお話しされたことが非常に印象

「被災1年後の被災地訪問」

ベタニアホーム 施設長 伊丹 桂

熊本地震の揺れは体験した者でさえもその表現が難しい程の揺れだった。とは今年2月に社会福祉法人ベタニアホームの職員4名が益城町、熊本市を訪れた際、多くの方々から伺った言葉です。「広安愛児園」では、敷地を地域住民に開放し、ライフライン損壊による生活上の支障が大きくなる

るよ」と語りかけてくださいます。神様、あなたに疑いよりも信頼を向ける勇気を持てますように。アメン。「行け、あの者は、異邦人や王たち、またイスラエルの子らにわたしの名を伝えるために、わたしが選んだ器である。」(使徒9・15)

神様は特別な人だけ選び、まるでその人を物であるかのように扱う方なのではないでしょうか。いいえ違います。世界中にいる全ての一人一人が神様に必要とされ、その一人一人は神様に造られた存在として大切に大切に用いられているのです。

しかし、神様にとつてはあなたが特別な存在なのではないです。あなたから選ぶのではなく、神様に造られたあなたが自身が神様に選ばれているのです。そして神様はご自分で造られた大切な器であるあなたを用いられます。器の中には何を入れればよいのでしょうか。それは一人一人違います。神様から二人一人に与えられる賜物によってあなたはあなたらしく神様の前で輝くのです。神様は全ての一人一人へ呼びかけます。「生きなさい。あなたのままで、あなたは私が選んだ器です。私にあなたが必要です。」と。

このように考えると日本の農業政策は、やはり持続可能な農業をもう一度立ち止まってよく考えるべきだと思ふ。剣を鋤に槍を鎌に替えたのだから。午後は「グローバルイズムと国民主義」と題して岩月浩二弁護士と「TPPと人々の暮らし・人権」と題して長峯信彦さん(憲法学者)より、お話しを伺った。

今回の訪問では具体的なボランティア活動をする事はできませんでしたが、今後被災地「被災地」を「見る」こと、聴くこと、感ずること、そしてそこから学ぶことを続けていきたいと考えています。

農業の本質は自然の摂理に従い土本来の力を生かすことにある。生態系の食料や健康問題、ひいては人類の深刻な問題を引き起こしかねない。また、生産性や美しさを追及するあまり農業をいすぎ健康問題にまで及んでいる。EUで全面禁止の有機リン剤が日本では解禁されている。残留農薬の基準値もEUよりずっと甘い。私たちはあまり知らされていないので日本の野菜は世界一安全で美しいと思っているが違っている。栄養面でも化学肥料の使いすぎで土に力がなく、昭和20年代に比べると半分以下といわれている。遺伝子組み換え(GM)作物も問題だ。これもEUでは撤退しつつあるといわれていると話された。



このように考えると日本の農業政策は、やはり持続可能な農業をもう一度立ち止まってよく考えるべきだと思ふ。剣を鋤に槍を鎌に替えたのだから。午後は「グローバルイズムと国民主義」と題して岩月浩二弁護士と「TPPと人々の暮らし・人権」と題して長峯信彦さん(憲法学者)より、お話しを伺った。

2017年宗教改革500年 「カトリックとルーテルの 共同声明」に学ぶ②

石居基夫
(日本ルーテル神学専修校長)



【本文から】

●感謝の心をもって

この共同声明をもってわたしたちは、宗教改革500年を覚える年の始まりに当たり、ルンドの大聖堂において共同の祈りを捧げるこの機会のゆえに神に喜びをもって感謝していることを表明いたします。カトリックの人々とルーテルの人々との間にもたれた、実り多いエキュメニカルな

対話の50年がわたしたちにとって多くの違いを乗り越える助けとなり、わたしたちの相互理解と信頼を深めてきました。同時にわたしたちは、しばしば苦難や迫害の中で苦しんでいる隣人に対する共同の奉仕とお互いに互いにより近い者となりました。対話と分かち合った証しをとおしてわたしたちはほほや他人同士ではなくなりました。むしろ

【学び】

この「共同の祈り」がもたれるという事は、先に記したようにこの50年間の両教会の代表によって積み重ねられてきた粘り強い取り組みがなければ、決して実現できなかったものだ。それまでも、もちろん互いの神学的主張についてはそれぞれに研究対象であったが、どちらかと言えば批判的傾向が強かったと言えるだろう。しかし、この対話の時期に入ってからには、

お互いをより深く学び、認め合うものとなった。折しもルーテル教会の大切な信仰告白である「アウグスブルク信仰告白」450年やルーテル生誕500年などのきりの良い時がこの50年の歩みの中に重なって

いて、それだけでなくもルターやルーテル教会について神学的検証が起ること必然でもあった。その時期に、この両教会間の対話

がなされることは特別な恵みであったといつてよいかもしれない。

50年に渡る「エキュメニカルな対話」は今までのところでは5つの期に分けられている。

第1期(1967~1972年)この時期に今一度それぞれの教会の福音理解を共にしていることを確認した。その果実が1972年の「福音と教会」(マルタレポート)。

第2期(1973~1984年)この時は「聖餐」「人のキリストのもとにあること」「教会の職務」などのトピックが取り上げられた。

第3期(1986~1993年)ここでは「教会と正義」をテーマに対話を重ねた。

第4期(1995~2006)第3期をうけて、1999年「正義の教理に関する共同宣言」と、200

6年の「教会の使徒性」を成果とする実りある対話がなされた。そして、

第5期(2009年)2017年を両教会で迎えるための準備をかきねてきた。2013年に「争いから交わりへ」の文書が出され、両教会の歴史の中の過ちを告白し、これからの両教会の宣教の責任とまた教会一致への歩みを宣言している。

つまり、この対話においては実践的な協力という側面よりもむしろはつきりと神学的課題を正面に据えてきたものだといつてよいから。言葉を換えるなら自分たちの信仰の内実と

的交わりももちろんあったのだ。具体的な協力関係がお互いを本心によく理解し合う原動力になったことも確かなことだといわなければならない。

西教区宗教改革500年 記念大会報告 伊藤節彦(広島教会)

全国で行われる宗教改革500年関連行事の皮切りとして3月19~20日にかけて大阪教会を会場に西教区記念大会が開催されました。初日は106名が集い、西教区女性会、花みぎの集い」が持たれました。

開会礼拝に続いて、日本キリスト教団讃美歌委員会の委員長である水野隆二師により「私たちが信じ、歌うこと」宗教改革500年は讃美歌誕生500年」と題して講演を頂きました。最初に「食物が私たちの肉を形成しているように、礼拝こそが私たちの信仰を形づくっている」と話され、「歌う教会」であるルーテル教会と教会讃美歌の特徴を14曲もの讃美歌を実際に歌いながら分かりやすく説明され、改めてその豊かさを認識する機会となりました。更に、21世紀を生きる教会は、「どんな歌を誰と一緒に歌

うのか？」が問われているという課題提起もあり、心新たにされる思いでした。講演の後は懇親会が行われ、旧交を温め新しい出会いを感謝する喜びの時となりました。また、来日されていたサウスキャロライナ・シノッドのヨース監督をはじめとする訪問団も加わり、124年に亘るパートナーシップを深める機会ともなりました。

2日目は180名が集い、教区全体の記念大会礼拝が行われました。この日は1日通して礼拝という構成で、午前中は「開会」み言葉の部、奉獻の部」で、説教は鈴木浩師。昼食の交流タイムを挟んで、午後は斧ヶ崎ディアコニア活動・喜望の家の報告、また昨秋ルンドで行われたルーテルカトリック合同礼拝の報告がなされました。続いて大阪ハイリッヒ・シュッツ合唱団による特別演奏会が行われ、最後に派遣聖餐式をもって終了致しました。

第27回総会期 第3回常議員会報告 事務局長 白川道生

教区から教区長を通して挙がつてくる招聘を応諾につないでゆく、これを原則に進めますが、今年度は難航した経緯が常議員会に報告されました。

▼宣教態勢

27期常議員会は「人事委員会」を設置して、教職人事提案の検討と調整を付託しました。執行部3役と各教区長の8名からなる同委員会は、常議員会への上程を任務に、7月から最長翌年2月まで協議を積み重ねる、この筋道は例年同様でした。

日本福音ルーテル教会の教職人事調整は、5つの

3月をもって定年退職なざる教職が3名、新任教師2名を迎え、2017年の教職態勢は、現任教師・宣教師(J3含む)、牧会委嘱を合わせて102名に、そのうち87名が各個教会での働きとなる宣教態勢が承認されました。

ルーテル教会はひとつ。この理念を堅持しつつ、全国の教会がつかっているとの相互理解を保ち、ひとつのからだとしてのあり方

化を背景に持つものです

が、立山議長は、当初の出発から営んできた収益事業の歴史には是非の議論も含んでおり、次に進む検討を行う際には、きちんと評価と議論をしなければならぬと意向を示し、議事設定となりました。

協議は、収益事業開始からの収支成績の確認に始まり、過去の合意から継承する収益事業に設けた制限事項や基本形態の確認、総体予算における適正な比重、資産の有効活用と用途、収益事業と

協賛の将来計画に関する協議を行いました。この協議は、市ヶ谷会館の老朽化を背景に持つものです

協賛の終わりに立山議長は「これまで進めてきた収益事業によって得られた収益と、このために労した方々の働きに対して感謝を表すべきであるが、しかし、収益への依存には節度を欠いてはならず、教会が過剰に収益義行に頼るようなあり方とならぬように留意すべき」と、認識を小さめました。

詳細は教会宛送付の議事録をご覧ください。(本稿では主要な協議のみ報告を記しています)

報を記しています)

しかし、その一致を求める対話の中でこそ、それぞれの信仰の具体的な姿、内容が共有され、自らの伝統をよりよく理解することに

も、またそこでの特徴や課題についても気づかされていくものとなったといつてよい。そして、相手の姿の中に、信仰の新しい発見も導きも見出していくことにもなった。エキュメニカルな対話はそれぞれに教会を豊かに実らせているように

思っ。そして、こうした対話とともに、より具体的な世界

の課題で協力し合う、実践

の課題で協力し合う、実践

の課題で協力し合う、実践

「新しい歌を主に向かって歌え！」(詩149・1)

「新しい歌を主に向かって歌え！」(詩149・1)

「新しい歌を主に向かって歌え！」(詩149・1)